

子どもたちは、学校の中だけでなく、社会の中でも荒れだした。

☆人気シューズの「エアマックス」品薄で手に入らないから、人のまであらう。

☆卵形携帯用電子ペット「たまごっち」恐喝事件。

福島区のある店で1コ2000円のを1万円で、限定販売していた。自分は1000円しか持っていなかったのに、買おうとして並んでいる子から4万円脅し取った。(ちなみに、取った生徒は、市内B長I教諭の学校の生徒だったらしい。校内では、教師が生徒をこわがって、しかれないうで生徒に好き放題言われたり、立ち歩かれたり…という現状だそう。しかし、I教諭が授業に行くと、しーんと、ぴしっとしてる。)

☆エアガンで人をうつ。

事件から見える子どもの心理

- ・悪いと知っていてもやる。
 - ・おもしろかったらやる。
 - ・我慢しない。欲しい…となったら手段を選ばない。
 - ・見つからなかったら、まあいいや。
- こんなところではないだろうか。全体的にモラルの低下が感じられる。

学校の中で振り返ってみると…

そういえば、学校の中でもこんなことがある。人のものを勝手に平気で持っていくのだ。

T「これは君のか？」と聞くと、

C「ちょっと借りてただけや。」と言い逃れする。

学校の中では持ち物調べなどは、人権問題に触れ、言及しにくい。だから、子どもたちは、その場さえ黙っていたら、隠し通せば、逃れることができるのだ。子どものよく言う言葉の一つに、「知らん」という言葉がある。そして、数々の事件が迷宮入りのまま終わってしまう。

このように学校の中でも、きちんとモラルを教えないことがある。しかし、「人権問題」と「事件の追及」とをはかりにかけ、「人権」を取ってしまつて、事件をうやむやにしたこの指導は、これよかつたのだろうか？

学校の中には、このような、教師の指導のはき違えではないかと思われることが結構ある。

(例1) 図工展などで受賞し、みんなの前で表彰されることに、「問題では？」という教師がいる。「もらえない子はどうなる？」というのだ。

(例2) 遅刻する児童に、「家庭環境を考えると一言もない」など、もっともらしい理由で指導しようとしないう。

一変に教師が腰を低くして、必要なことも言えない。子どもを真正面から見ようとしないう。前向きにみんなが高まろうという気持ちが見えない。こんな教師の指導が子どものモラルを低下させるのではないか。

こんな親が荒れる子どもたちを作る!?

子ども達は少子化の傾向から小さい時から、いうことを聞いてもらえるし、何でも自分の思うままになりやすい。そして、我慢を知らない子どもが作られていく。また、親の中には、しつけをできない人がいる。「先生、うちの子、なんぼ言うてもあきませぬん。先生叱って下さい。」というのだ。

また、こんな親もいる。何かを指導し、親に協力と理解を求めても、「家の子が、そんなことするはずがない。」と子どもの側に立ち教師の話を聞いてくれない。こういった親にも、子どもの荒れの責任はあるのではないか。

こんな地域社会が荒れる子どもたちを作る!?

町には、いろんな悪さややんちゃする子らがいるが、見て見ぬふり。昔は、見かけたら、知っている子であろうと知らない子であろうと、みんなが叱ってくれたものだ。誰も、叱ってくれないものだから、子どもたちは歯止めがきかなくなっているのではないか…？

大人たちよ！しっかりしろ！

こうして、考えていくと、子どもたちのモラルを低下させ、学校の中でも社会の中でも荒れる子ども達を作り出している原因には、教師にも責任があるし、親にも責任があるし、地域や社会にも責任があるようだ。大人たちよ!!しっかりしようではないか!!子どもをびびつて、どうするんだ!!もっと真正面から、子どもに向き合おうではないか。

自分さえよかつたらいいのではなしに、前向きに、みんなが高まろうじゃないか!!

—大人の中にもモラルの低下がみられる昨今。大人も教育しなうさなければ、子どもがよくなるわけもないかもしれない…。